



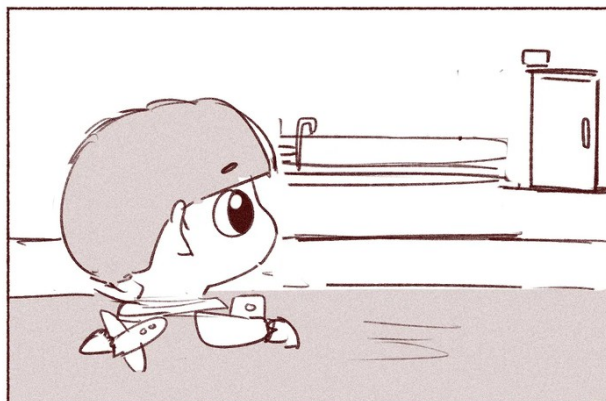
子供の頃におばあちゃんと
銭湯に行った時の出来事だ



近所の銭湯だから
時々近所の人たちに
出会ったりもする



おばあちゃんに
水風呂に行ってくるって
言ってたけど



おばあちゃんがサウナに入って
突然俺の目の前から消えたように見えた



あの時はサウナに人が入れるとは知らなかったし
おばあちゃんが俺を置いていったかと思ってた



20分ほど銭湯のあちこち回っても
結局見つからなくて泣いてしまった

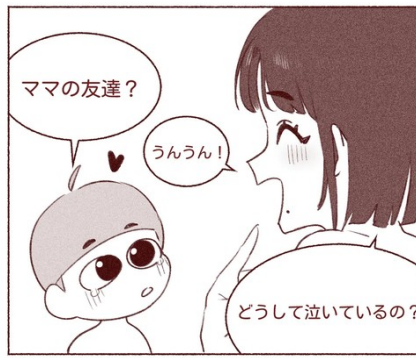
しかし



泣いている俺に
話しかけてきたお婆さんは
お母さんの友達だった



よく覚えていなかったけど



お母さんの友達だと聞いてほっとしたせいか



おばさんを抱きしめて
おばさんの胸に顔を押し当てて泣いた
子供の頃の俺は甘えがひどかった





おばさんのおっぱい揉みながら
泣き続けていると



って言いながら
おっぱいを飲むのを許してくれた





プチ情報

銭湯やサウナのようなところには
白いデッキチェアが必ずあった



おばさんはデッキチェアに座って
おっぱいを飲ませてくれたが





当時のおばさんは俺が子供だから
おっぱいを飲ませてくれたと思う
でも乳を飲んじゃダメって言い添えた



俺よりずっと年下の子供を指しながら
もうおっぱいは飲んではいけないと教えてくれた



しかし、あの時の俺は
人は人我は我の考え方をしてて

ずっと幼い子たちも〇〇してるのに～
って言われても無神経だった



だから気にせずおっぱいを吸った



むしろ
そんなことを言われたら
もっと強く吸ったりした



おばさんも
おっぱいを吸われ続けて
痛いのか気持ちいいのか
少し切なそうに見えた



それからおばちゃんが
サウナから出てきて止めることになった



このおばさんとは
その後からもよく見かけたりしたが



出会うたびにいつもおばさんに
まだお母さんのおっぱい飲んでるかって
からかわれるようになった